



2024年4月16日

各位

会社名 株式会社ひかりホールディングス
(コード番号 1445 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 倉地 猛
問合せ先 取締役経営管理本部長 立川 征吾
TEL 0572-56-1212
URL <https://www.h-holdings.jp>

業績予想に関するお知らせ

当社は、2023年10月31日公表の2023年8月期決算短信（日本基準）（連結）で未定としておりました、2024年8月期通期の連結業績予想について、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 2024年8月期通期の連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	5,065	124	140	96	382.12
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期通期実績 (2023年8月期)	3,603	△23	△33	△77	△303.76

2. 業績予想の理由

2024年8月期通期予想におきましては、2023年6月1日にM&Aによりグループ化しました輝龍株式会社の動向に不透明感があつた事から、業績予想の合理的な算定を行うことが困難と判断し、2023年10月31日公表の2023年8月期決算短信（日本基準）（連結）では当期の業績予想を未定としておりました。第2四半期が過ぎ、当社グループの業績の見通しが立てられた事から、現時点で入手可能な情報に基づき公表することと致しました。

当社グループのタイル・石材加工販売事業、総合建材事業、電気通信工事業、土木工事業及び総合改修工事業の主要事業である建築工事関連においては、急激な円安やエネルギー資源の高騰、資材高などの要因が建設費の上昇に繋がっている事が要因となり、国内の建築需要の伸び幅は、回復の兆しが見えつつありますが、引き続き、市場の動向には注視していく必要があります。

このような市場環境において、タイル・石材加工販売事業は、新築マンション等の外壁にタイルを使用する平米数が減少しているものの、エントランスや玄関周りなど内装タイルの需要が伸びており、その結果、床材で使用する大判タイル等の加工需要が伸びております。また、総合建材事業においては、首都圏を中心とした再開発によりタワーマンション等の建築需要が高まっている中で、内装で使用する意匠性のあるタイルの需要が高まっている事で、新築工事・輸入タイルの卸売り需要が拡大しております。電気通信工事事業の主要市場である情報通信関連においては、「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、全国的なデジタルインフラ整備が推進されている事で、新世代移動通信システム（5G）の設置工事は引き続きの需要が見込まれるほか、旧世代移動通信システム（PHS・3G）の撤去工事などモバイル関連全般の工事需要は引き続き、高い需要が見込まれております。総合改修工事事業においては、2014年の消費税増税の影響で新築マンション等の需要が大幅に伸び、同時期に建てられた建築物が大規模修繕の周期（築年数10年以上）を迎えはじめている事から、引き続き大規模修繕工場の市場が活性化する事が見込まれております。その結果、当期の売上高5,065百万円、営業利益124百万円、経常利益140百万円、親会社株主に帰属する当期純利益96百万円を見通しております。なお、2024年8月期通期の期末配当予想につきましては、内部留保を確保する事を優先とし無配当を予定しております。

※本資料に記載しております業績予想当の将来に関する記載内容については、当社が現在入手している情報及び、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等に様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上